

# 英語のチカラ for Teachers

授業に役立つ英語の先生のためのサポートサイト

- HOME
- 先生たちの熱血Voice
- 指導のヒント
- 英語教育レポート
- 英語教育向け学会・セミナー情報
- 無料の英語小テスト
- BSS

HOME 先生たちの熱血Voice 先生熱血Voice vol.19 東京都立日比谷高等学校 石崎隆一先生



## 生徒に考えさせ、生徒と共に作る授業

### 生徒がどう学んでいるか、という視点を大切に

本校ではOCEの授業を2本立てで行っています。ALTとのチーム・ティーチングによる音声系の練習（発音、会話、スピーチ等）と日本人教師による文法項目別の練習です。

私が受け持つ文法系の授業の大まかな流れとしては、それぞれの単元につき

- 学習ポイントの説明
- 前置きの読み合わせ
- 段階的ドリルによる学習ポイントの確認

というように進めています。生徒は参考書を読み、問題集の練習問題に解答を済ませて授業に臨みます。

留意している点はいくつかありますが、まず、ハンドアウトを工夫して（1）にかけられる時間を必要十分に最小化するよう努めていることが挙げられます。これは、生徒は、（3）の過程で、学習した文法事項を実践に使い、つまり、修正する中で力を付けるのだらうと判断しているからです。生徒の「気づき」を促すことに意を用いているのです。私は知りたいと思ったときが学習のチャンスであると考えています。

よって、（2）のシーンで読み合わせのやり方を状況と目的に応じて変えています。どちらかというと正音明を配付して自己採点させ（事後回収）、生徒同士ペアで質疑応答させた後、教師対生徒で質疑応答する場面を取り入れることが多いです。教えることは学ぶことであり、仲間と学ぶ記憶は学習の定着を促しますので、教え合いの場面から互いの学びを促してもらいたいという思いからそうしています。そして最終的に生徒同士のペアで解決できなかった箇所を教師とのやりとりで解決へ導く心算なのです。

（ちなみに、この流れは、生徒同士がペアで話しても解決できなかったので、全体のなかで準手して教師に質問しやすい、という前任校の複数の生徒の話に立脚しています。）

主な留意点としては、他に、生徒たちは、折に離れ、こうした活動を何のために行うのか、行うことでのような力がつくのか、こちらのぬらいを話すより心がけています。また、（2）や（3）のシーンで生徒の進捗を常に伺い、個々の生徒の学びの様子に留意を払うようにしています。まず活動をさせ生徒の様子によって反応を返し、教える流れを重視しているのです。生徒に時間を与えるから生徒たちは考えることができ、学ぶのだと思います。

### 教え込む授業からの脱却、そして備のある教師を目指して



今でこそ、生徒がどう学んでいるか、という視点が大切だと気づいてきています。以前は下手な学習ポイントの強調だけで50分を使い切ってしまうこともあり、こうした教え込む授業からの脱却は灘校（兵庫県神戸市）の木村謙哉先生との出会いがきっかけです。先生からあるとき「生徒は知識として覚えなくてはならない、という意識で覚えているから忘れてしまうのではないか」という指摘をいただいたことが転機になりました。

そこで、前述のような、「文法指導のゴールを発信（作文）に置く」という授業をしているのです。文法事項の理解を授業でのゴールとせず、ファーストステップとし、易から難に配したさまざまな形式のドリルを生徒に行わせる。生徒は覚悟することを目指し、学んだことを少しずつステップアップさせることをイメージしながら、さまざまな形で反復練習することで文法事項を定着させていく。（このようなスタイルの指導法は木村先生と書かされていた「学をかなえる英文法 ユニゾン11」（2011年、アルク）に結果しています。ぜひお手にとってご覧ください。）

つい先日、札幌と徳島から先生方が授業見学に来られたのですが、次のような感想を頂きました。

- アクティブな文法の授業で全然眠くなりませんでした。昼休み後、昼食後の生徒さんたちもよく取り組んでいましたね。あれなら絶対力がつきますね。
- 前を向かせてから説明する「指示は短く的確に、適宜繰り返す」など、授業規律の確立が授業を支える基礎になっていると感じました。

こうお感じになったとするならば、これは特に最初の2校での学習指導の経験や部活動（バレーボール）の指導者としてのキャリアが活きてますね。

私は生徒の姿態に合わせた指導ができる。備のある教師を目指しています。時には「進学校の生徒はテクニクで何とかなるからね」という切り口で見られることもあります。しかし、こういう気持ちで接していると思えない生徒に出会えます。どんなにいいことを言っても人間関係がなければ目に入らないかもしれません。こちらが誠実に真正面からぶつかっていかないと生徒は動きません。

その点では進学校も生徒指導に手のかかる学校も同じだと私は考えています。「師弟同行」という言葉もありますが、授業だけでなく、部活動や行事、教育相談や相談などをすることで関係性が深まり、生徒は「この先生に学んでみたい」と思うのではないのでしょうか。

あと、意識としては、都立高校には転勤がありますので、その学校でしか経験できないことを経験するよう心がけています。今の私が担任校などで教えていれば（そのときはそのときなりに精一杯やっていたわけですが）あの子たちをもっととどめていたかもしれないなどと考えると申し訳ない気持ちです。そうした気持ちで芯を愛わらずパーフォーマンスを振上げていくことが、その子たちへの評価ほしになるのかなと考えております。

この先定年退職まで動めるであろう様々なレベルの学校で、様々な生徒に対応できる素地をいま作っている。自分の備を上げていかなければと痛感しています。



### 助産師 心斎常

これは「いそみで、ろあますところなければ、ここらにとこえなるいとまあり」と読みます。胸の明の言葉ですが、胸の明はその意夫としての経験から、精一杯の活動をしている心はかえってのどか余念があると述べているのです。これは東京都への就職が決まった際、恩師である助産師一先生からいただいた言葉です。頭部先生は「知的生産においても同様で、精神的に働いているとき、かえって心は自由になり、次から次へとアイデアや構想が浮かび、湧き出まってくる。高校現場は多忙な構想めどしようが、研究を続けなさい。それがまた生徒たちのためになるのだから」と続けられました。この言葉を胸に、今後とも歩んでいこうと思っています。

英語のチカラ Line 1,079



スペイン語対談 2010.11.24 瀧原文夫理事長×佐野元義理事長

### 先生熱血Voice!

- 2014.10.20 vol.29 山形県立山形西高等学校 山口和彦先生「スピーチ×英語」
- 2014.07.01 vol.28 桐朋中学・高等学校 鈴木文也先生「Collaboration×英語」
- 2014.05.28 vol.27 大阪私立羽衣学園 中・高等学校 米田隆三先生「ICT×協働×英語」
- 2014.4.28 vol.26 神奈川県立津北高等学校 岩本理子先生「多読×英語」
- 2013.12.20 vol.25 静岡県立静岡高等学校 森野野明先生「慣れ×英語」
- 2013.9.30 vol.24 私立ラ・サール学園 佐野成先生「読解×英語」
- 2013.7.31 vol.23 専修大学附属高等学校 田川真先生「出会い×英語」
- 2013.6.28 vol.22 京都山崎中学校・高等学校 西山哲郎先生「夢×英語」
- 2013.5.31 vol.21 開成中学校・高等学校 河野直樹先生「生きて×英語」
- 2013.4.30 vol.20 関東学院六浦中学校・高等学校 鈴木由美子先生「コミュニケーション×英語」
- 2013.3.29 vol.19 東京都立日比谷高等学校 石崎隆一先生「気づき×英語」
- 2013.1.31 vol.18 錦城学園高等学校 山岡真先生「広がる世界×英語」
- 2013.1.30 vol.17 春日部共栄中学校 高野由紀先生「伝える×英語」
- 2012.8.30 vol.16 東京農業大学第三高等学校 大澤孝幸先生「出会い×英語」
- 2012.6.29 vol.15 東京純心女子中学校・高等学校 三田浩子先生「社会の変化×英語」
- 2012.3.20 vol.14 経世中学校・高等学校 大貫泰幸先生「超学×英語」
- 2011.12.21 vol.13 八王子高等学校 堀田博男先生「日本語教師×英語」
- 2011.11.30 vol.12 東洋英和学院 中部・高等部 露木奈奈子先生「地球人のソール×英語」
- 2011.10.26 vol.11 駒込中学校・高等学校 大谷啓明先生「ネットワーク×英語」
- 2011.7.27 vol.10 京都市立堀川高等学校 原正敬先生「異文化×英語」
- 2011.6.23 vol.9 立教女学院中学・高等学校 石井智子先生「脱法×英語」
- 2011.5.25 vol.8 順天高等学校 小町浩一先生「相互理解×英語」
- 2011.4.20 vol.7 長野松本県ヶ丘高等学校 池上博先生「ディベート×英語」
- 2011.3.23 vol.6 日本橋女学院高等学校 藤田祐史先生「現状プラス×英語」
- 2011.2.23 vol.5 都立真山高等学校 大場智彦先生「授業×英語」
- 2011.1.26 vol.4 山口県立華陽高等学校 梅地節郎先生「自己研鑽×英語」
- 2010.12.22 vol.3 広島県立海田高等学校 高田智子先生「自己表現力×英語」
- 2010.11.24 vol.2 東海大学付属相模高等学校 中村大志先生「文法指導×英語」
- 2010.10.28 vol.1 東京都立戸山高等学校 岡本真一郎先生「想像外×英語」

### 先生熱血Voice!【福島編】

- 2013.9.27 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(9)～ 勿来工業高校 斎藤裕文先生 & 志賀敏子先生
- 2013.5.31 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(8)～ 福島県いわき総合高校 石井路子先生
- 2012.4.31 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(7)～ 飯川村立飯川中学校 鈴木悦子先生
- 2012.1.25 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(6)～ 福島県相馬市立第一中学校 甲高孝先生
- 2012.1.25 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(5)～ 福島県小高工業高校 鈴木康隆先生
- 2011.9.28 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(4)～ 福島県立相馬東高校 三好朝美先生
- 2011.9.20 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(3)～ 福島県相馬市立中村第一中学校 中島浩道先生
- 2011.8.31 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(2)～ 福島県立小高工業高校 鈴木康隆先生
- 2011.8.31 【福島編】震災の現場から～今を伝えたい(1)～ 福島県相馬市立磯部中学校 浅野浩士先生

神田外語大学 Webサイトへ 資料を請求する 神田外語学院 Webサイトへ 資料を請求する British Hills Webサイトへ



vol.18 錦城学園高等学校 石川真馬先生 | vol.20 関東学院六浦中学校・高等学校 鈴木由美子先生

勇へ戻る



PickUP!!  
英語のチカラ



得意に  
役立つ  
情報を  
お届けした



先生！熱血Voice【神田外語  
大学編】神田外語大学講師  
田島 慎朗先生



先生！熱血Voice【神田外語  
大学編】神田外語大学准教  
授 高木 耕先生



先生！熱血Voice【神田外語  
大学編】神田外語大学准教  
授 矢野典枝先生



TEI動画を教材に！  
入試に出そうな単語・フレー  
ズをPickUP解説付き



英単語・ライティング・リスニング  
・英検2級レベル→  
・英検準2級レベル→  
・TOEIC級→

Obunsha Group × 神田外語グループ

英語のチカラ  
英語のチカラ for Teachers



Copyright JIEM,INC. 2014 All rights Reserved.